Candle Night 1 Pi:ce2010夏至
開催報告書

2010年9月
Candle Night 1 Pi:ce実行委員会

大阪市中央区本町橋6-21-903
TEL/FAX：06-6371-7557
E-mail：info@1pi-ce.jp
HP：http://www.1pi-ce.jp/

Candle Night 1 Pi:ce2010の取り組みについて

福岡県八女市星野村に現存する原爆の残り火「平和の火」。夏至を中心に行われるキャンドルナイトにてこの平和の火の使用を2007年から全国に呼びかけ、関西3箇所で始まったキャンドルナイトが、翌年全国的に活動が広がり、昨年は星野村以外に関西と関東で採火セレモニーを開催する事ができました。

そして今年は全国で採火セレモニーの実施公募させていただき、全国で採火セレモニーを開催する事に挑戦させていただきました。

今まで私共が開催していた採火セレモニーを一般の有志が、そのやり方を星野村に学びに集まり、結果11会場で採火セレモニーを開催する事ができました。

今まで以上に平和の火を採火いただくための環境が整い、様々なキャンドルナイト主催者に参画していただく事ができました。

「平和の火の存在を知ってもらう」

という目的を昨年より一歩前進した形で進められたと思います。

以下今年の夏至におけるCandle Night 1 Pi:ceの開催報告をご紹介させていただきます。

実施の流れ

5月3日　ピースフレンド、ピースステーション募集開始
6月2日　ピースフレンド募集締切
6月5日6日　星野村採火セレモニー開催、キャンドルナイト開催期間開始
　6～13日　北海道・東京・新潟・京都・大阪・兵庫・和歌山・長崎にて採火セレモニー開催
7月7日　キャンドルナイト開催期間終了

実績データ

キャンドルナイト開催会場：69会場（19都道府県）
キャンドルナイト参加者数：約3,500人
メディア掲載：新聞：16、TV：1

採火セレモニー

採火を行う場所を「ピースステーション」と呼び、各地で「ピースステーション」を開催するプロデューサーを呼びかけ、17歳の高校生から50代の方まで様々な年代の有志が星野村に集りました。そして、星野村で原爆・平和の火・採火セレモニーについて学んだ各地のピースステーションのプロデューサーが全国11箇所で採火セレモニーを行いました。各地のセレモニーの内容は基本的に星野村のものと同じです。

【星野村採火セレモニー】 実施日：6月6、7日　場所：池の山キャンプ場

原爆の話

佐原さんご夫婦に長崎で被爆されたお父様のお話を聞かせていただきました。

平和の火の話

火を守り続けた故・山本達雄さんのご子息山本拓道さんから平和の火のお話を伺いました。

採火式

平和の火の約束を説明し誓いの言葉をいただいて火を採火しました。

映画「マッシュルームクラブ」上映

原爆映画マッシュルームクラブを上映しヒロシマの原爆について学びました。

【東京採火セレモニー】
実施日：6月8日
場所：密蔵院（江戸川区鹿骨）

【大阪採火セレモニー】
実施日：6月11日
場所：風人の家（大阪市淀川区）

【新潟採火セレモニー】
実施日：6月11日12日
場所：加茂下条川ダム
自然学習館（加茂市大字）

【京都採火セレモニー】
実施日：6月11日
プロデューサー：藤沢めぐみ
場所：興禅寺（京都市伏見区）

【大阪採火セレモニー（エコ・ラボ）】
実施日：6月12日
場所：エコロジー・ラボ（大阪市福島区）

【和歌山採火セレモニー】
実施日：6月12日
場所：慈尊院（伊都郡九度山町）

【長崎採火セレモニー】
実施日：6月12日
場所：秋月宅
（佐世保市陣の内町）

【東京採火セレモニー（コクヨ）】
実施日：6月13日
場所：コクヨエコライブオフィス
（港区港南）

【兵庫採火セレモニー】
実施日：6月13日
場所：健康道場サラ・シャンティ
（神戸市灘区八幡町3－6－19 2B）

【北海道採火セレモニー】
実施日：6月14日
場所：ぽのぽの食堂
（札幌市北区北25条西4丁目1F）

開催したキャンドルナイト

ピースステーション	実施日	組織名・主催者名	担当者	キャンドルナイト場所	キャンドルナイト実施住所
北海道	6月15日		高橋伸枝	ぽのぽの食堂	札幌市北区北25条西4丁目3-10　第1タイガービル1F
	6月21日		橋本まほろ	オーガニック自然食品専門店　らる畑	札幌市中央区大通西23丁目2-25　ラメール円山1F
	6月16日		矢内俊光	にぱぱハウス	札幌市東区北14条東15丁目4-18
	6月19日		南ゆき	カフェ自休自足	札幌市北区新琴似3条7丁目1-21
	6月20日		小山田 浩子	あじとⅡ	札幌市中央区南11条西7丁目3-18
	6月21日		大川 誉芳	ぽのぽの食堂	札幌市北区北25条西4丁目3-10　第1タイガービル1F
	6月23日		和田美加代	みんたる	札幌市北区北14条西3丁目
	7月2日		大野友莉	小春日和	函館市八幡町18-18
	6月20日		有塚 真一	あすらん	札幌市東区北32条東13丁目8-11
	6月20日		横井　英	Cafe Raw Life	札幌市北区北24条西10丁目1-18
	6月20日	菊水銀座商店会	東　由佳子	照願寺	札幌市白石区菊水4条1丁目
東京（密蔵院）	6月11日23日	JIM-NET	大嶋　愛	JIM-NET東京事務所	豊島区高田3-10-24 第二大島ビル303
	6月12日	きゃりあらぼ	藤野　悠太	国分寺天空の城	国分寺市南町3-28-7ジョイナス国分寺ジュニア702号室
	6月27日		菅　航輝	オークハウス元住吉neo	神奈川県川崎市中原区木月祇園町
	6月20日	ARMS DOWN!キャンペーン墨田実行委員会	齋藤高市	東京都慰霊堂前広場	東京都墨田区横網町2-3-25　横網公園内
	6月18日	2010夏至キャンドルナイト実行委員会	成田智信	善了寺境内	横浜市戸塚区矢部町１２５
東京（コクヨ）	6月27日	東京ベジフードフェスタ	佐藤由実子	渋谷アハラン・サハラン	渋谷区鶯谷町15-10 ロイヤルパレス渋谷1F
新潟	6月21日	TEAM　TSUBASA	大橋保隆	燕三条 大橋宅	新潟県燕市燕3373-1
	6月21日	TEAM　しわざ	田邉敦子	ローソン　柏崎田中店　脇駐車場	新潟県柏崎市田中24-19
	6月20日	アースデイ新潟実行委員会	増田明弘	万代バスセンター2F 万代シテイパーク	新潟市中央区万代1-6-1
	6月16日		尾島智子	ポエシアブランカ	富山市千石町3-7-2
	6月21日		尾島智子	琳空館	富山市東岩瀬

開催したキャンドルナイト

ピースステーション	実施日	組織名・主催者名	担当者	キャンドルナイト場所	キャンドルナイト実施住所
京都	6月26日		田井　覚・勲	仏主すこやかセンター	京都府船井郡京丹波町仏主
	6月21日		柴口浩幸	LEALEA	三重県四日市市諏訪栄7-30　7番街ビル4F
			柳田美幸		
			平上静香		
	6月21日		冨田　豊	OHANA	三重県四日市市諏訪栄7-25
	6月20日		山本孝子	大津・なぎさ公園おまつり広場	大津市中央4丁目
	6月23日	中津川生命を守る月間実行委員会	鷹見信義	都市緑地公園	岐阜県中津川市えびす町1丁目
和歌山	6月26日		佐野ともみ	自宅	和歌山県紀の川市
	6月26・27日		野村尚子	川島様宅キャビン	和歌山県伊都郡かつらぎ町天野
	6月21日		垣内大樹	ゲストカフェ＆スパイスカフェ由苑	大阪市中央区上町1-5-8
	6月18日		深尾はるか・かずえ	慈尊院	和歌山県伊都郡九度山町慈尊院
	6月13日		C・T	自宅	大阪府吹田市
大阪（エコロジー・ラボ）	6月13～20日		眞鍋奈緒子	自宅	大阪市旭区
	6月13～21日		三重野紘一	自宅	大阪市淀川区
	6月12日		太田博子	自宅	大阪市福島区
	6月13日		吉信　博	自宅	京都府宇治市
	6月14日～7月7日		角田総子	自宅	大阪府東大阪市
	6月13日	モモの家	角田総子	モモの家	大阪府吹田市泉町5-1-18
	6月13～20日		向井美奈子	モルカフェ	大阪府堺市西区鳳南町2-149
	7月7日	劇団シアターOM	盛田瑠々子	桜川三丁目劇場	大阪市浪速区桜川3-6-6
	6月13～21日		高木明英	自宅	奈良県葛城市
	6月13～21日		荒木英雄	自宅	兵庫県明石市

開催したキャンドルナイト

ピースステーション	実施日	組織名・主催者名	担当者	キャンドルナイト場所	キャンドルナイト実施住所
大阪（風人の家）	6月21日	ハピル隊	中村悦子	自宅	大阪府茨木市
	6月21日		角岡ミチハル	鬼北町役場　近永公民館　大講堂	愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永800-1
			角岡ヒサヨ		
			角岡フミヨ		
	6月20日		齊藤あづさ	森本ガラス GLASS HALL	神戸市兵庫区中道通1-3-5　森本ガラスビル1F
	6月12日	レインボー奈良チーム	松本恭明	自宅	奈良市西大寺
	6月18・19日		松本恭明	グループホームあみ	奈良市二条町2-3-18
	6月19日・21日	ハーモニーアイズ協会	瀬川映太	神戸国際ハーモニーアイズ協会	神戸市中央区東川崎町1-7-4-21F
	6月21日		垣内大樹	ゲストカフェ＆スパイスカフェ由苑	大阪市中央区上町1-5-8
	6月12・13・16～20日	サクラテッセン	釣　琴美	サクラテッセン	神戸市灘区日尾町2-2-8　マグノリアパレス1F
	6月12・13・16～20日	サクラミモザ	釣　琴美	サクラミモザ	神戸市灘区日尾町2-1-2　プレディオセイコー1F
	6月14日	祝島島民の会	釣　琴美	祝島集落	山口県熊毛郡上関町祝島
	6月15日	らんぼうのスタディロード	釣　琴美	カヤック隊の家	山口県熊毛郡上関町祝島
神戸	6月26・27日	カチュア	池亀はるみ	cifa art＋café	岡山県北区石関町1-10　A.Y.M3F
	6月14日		池亀はるみ	自宅	神戸市須磨区
	6月19日	100万人のキャンドルナイト in東灘	大畑かおり	御影クラッセ広場1F	神戸市東灘区御影中町3-2-1
	6月14日	楽の森	森本幸治	楽の森	兵庫県神戸市兵庫区中道通1-3-5 森本グラスビル3F
	6月14～21日	ごパン	永田　豊	ごパン	兵庫県神戸市灘区神前町1-2-24
	6月14～21日		河本あゆ子	自宅	兵庫県西宮市
	6月14～17・19～21日	FREDY FLOREZ ＆ JESUS FLOREZ	FREDY FLOREZ	アマウタ	大阪市淀川区西中島6-4-3　新大阪南ビル4F
	7月7日	七夕＆キャンドルナイト実行委員会	西江嘉展	吉備津彦神社	岡山市北区一宮1043
	6月26日		田井　覚・勲	仏主すこやかセンター	京都府船井郡京丹波町仏主
	6月14～21日		尾野方俊	自宅	兵庫県姫路市

開催したキャンドルナイト

ピーススステーション	実施日	組織名・主催者名	担当者	キャンドルナイト場所	キャンドルナイト実施住所
星野村	6月21日	北九州キャンドルナイト実行委員会	土谷重幸・奥様	café Causa（カウサ）2階フリースペース	福岡県北九州市小倉北区浅野2-12-14
	6月21日	NGO風人ネットワーク	嘉正悦子	HappyCafe&琉球ばぁー『南ぬ風』	大阪市淀川区西中島1-9-16　1F
	6月23日	NGO風人ネットワーク	石山るみ子	風人の家	大阪市淀川区西中島1-9-16-201
	6月19日	NGO風人ネットワーク	加藤正典	風人の家	大阪市淀川区西中島1-9-16-201
	6月20日		真崎庄司	裏白峠	奈良県宇治田原町裏白峠付近の山中
長崎	6月18日	鼠小僧佐世保	秋月依子	主催者自宅	佐世保市
	6月19日	チームWAKU×2ながさき	林田憲次郎	アトラスナチュラルセラピー長崎	西彼杵郡時津町浜田郷38-7
	6月26日	スタッフ530	濱口美穂	星のきかんしゃ	南島原市深江町戊3951-151

19都道府県69会場実施

キャンドルナイト開催風景

6月7日～7月7日の期間、平和の火を受け取ったピースフレンド達が思い思いのキャンドルナイトを全国各地で開催しました。たった一人のキャンドルナイトから1000人規模の大型のものまで様々なキャンドルナイトが開催されました。

リサイクルキャンドル

昨年に引き続き、結婚式場の廃キャンドルを使った平和の火の存在を知って貰う事を目的としたリサイクルキャンドル事業を展開しました。キャンドル提供：サトウ花店株式会社

＜ワンピースキャンドル＞

大阪の障害者の施設「ユイ」と「みどり教室」とのタイアップ。障害者施設の仕事を創出しながら幅広い層へのPRを目的として下ります。収益のうち5円を日本原水爆被害者団体協議会へ寄付させていただきます。価格：200円

＜Message 2010＞

大阪のキャンドルアーティスト「match point」とのコラボキャンドル。若い層へのPRを目的としております。
2010年モデルとしてデザインを変更致しました。収益のうち200円を日本原水爆被害者団体協議会へ寄付させていただきます。価格：2,000円

match point：http://www.matchpoint-candle.com/

2010年7月8日
広島県原水爆被害者団体協議会に今回のキャンドル販売の収益の一部である3,880円を寄付させていただきました。

※写真は日本原水爆被害者団体協議代表理事の坪井様

ピースプロデューサーの感想①

燃料がどんどんとなくなって火は消えた。火が消えるのは自然なことのはずなのに、すごくさびしくなった。その火は人々をつなげる力をもっている。不思議だ。
私は原爆などについて「もう二度と起こしちゃだめだ」と思いながらも、実際には一度も行動をしたことがない人だった。学校の授業では「原子力発電所は恐いよね」とか言っておきながら、原子力でつくられた電気をばんばんとつかっていたし、広島の被爆者の方の体験談を聞いて「この話を広めなきゃ」と原稿に書いておきながらも、実際はだれにも話していなかった。言っていることとやっていることが矛盾している、中途半端な自分が嫌だなあと思っていた。
キャンドルナイトを開催することになって、初めて星野村の合宿に行くことになった。「火を採りに行くだけ」。そう思って、やって来た私の前にはたくさんの大人がいた。みんなが「平和」について想いをもっていて、本気で平和を願っている。そんな大人たちと出会って、「おおう！」と驚いてしまった。こんな素敵な人たちがいるんだ。感動した。私もそうなりたいと思うようなかっこいい人たちばかりだった。そんな中に中途半端な自分がいる。「来てよかったのかな」と思った。でも、みんなは受け入れてくれて、優しく接してくれた。だから、素直に感想や意見を言い表すことができた。下手な表現ではあったが、心をこめていれば、相手に伝わるものなのだろう。そう思って一生懸命に話していた。
たくさんの人と知り合いになれたし、「平和」について深く考えられた。同じ想いをもった人たちが集まって話し合うということは、とてもいい経験だった。自分を好きになって、自信を持ちたいと思った。
火が消えてしまったとき、皆とのつながりも消えてしまうんじゃないかと恐くなった。でも、消えてしまってからも、同じ想いをもっていれば、離れた場所にいてもつながっていられる。そう思った。
毎朝学校に行って、友達と会って、笑いあう。自分が当たり前だと思っている生活が、一瞬のうちに消え去ってしまう。そんなことをもう二度と繰り返してはいけない。
この火がいろんなことを気づかせてくれた。想いを共有することの大切さ、「今」という時間へのありがたさ。
山本達雄さんと原爆の残り火に、感謝を伝えたい。ありがとう。（和歌山県　深尾明加　17才）

ほんの2ヶ月ほど前 僕はキャンドルナイトワンピース代表のたけちゃんと縁あってお会いした そのときに原爆の火が燃え続けていることを知った「凄い！」と思うと同時に「ホントか！？」という懐疑的な思いが僕の中にあった 僕の好きな言葉の一つにこんなものがある「信じるな。疑うな。確かめろ」 聞けば毎年福岡からヒッチハイクで北海道に火を届けているとのこと「面白そう」「確かめたい」 僕が今回の役を引き受けたのはこんな単純な理由 5月31日新潟出発 途中で 広島の原爆ドーム、平和公園、資料館 長崎の平和公園、資料館 を訪問 だけどピンと来ない 戦争を知らない僕がどんなにイメージに努めてイメージしたとしても それはリアルを体験した人のそれにどれほど近づけると言うのだろうか 僕は自分自身よくわからないまま「平和の火」がある星野村に入った そこでヒバクシャの証言を記録したものを見た その中の一人の女性が泣きながら語っていた 私は自分が良い人間だと思ってた だけど原爆が落ちてやっていけないこと沢山やったよ 助けを求めてくる沢山の人がいる中で 私は自分の家族に会いたくてその人達を置いてその場から逃げたんだ その話を聞いたとき もし自分がその場にいたら同じことをしていたと思った そう思ったからこそ 僕は感覚として広島と長崎に原爆が落ちたことがわかった気がした 6月6日福岡県星野村出発 沢山の乗せてくれた人たちが「今回のことに関わることが出来て良かった」「北海道に頑張って火を届けてね」凄い嬉しかった 正直僕が火を北海道まで運べたのは 原爆の火だから という事実よりも 北海道で火を待ってくれている人がいる ここまで僕を乗せてくれた人たちとの約束 という思いが強かったように思う 正直寒くてしんどい夜が何回もあった（まぁそれは僕が寝袋を持って行かなかったことにもかなり原因があるんだけど） 俺何やってんだろ さむっ ちゃんと期日までに持って行けるかなー 俺がめっちゃ可愛い女の子だったら速攻行けるのに なんて思ったり思ってなかったり もし火がなかったら 自分一人の旅だったら途中で家に帰ってた
俺だけの旅じゃなかったから乗り越えることができたし 横になって寝れること 夜風を防ぐ場所があること 布団があること その有り難さに感覚的に気づくことができた 旅をしていてわかったことは 火に罪はないということ 夜寒かったときにランプとカイロからの暖かさで僕はとても救われた なんでもそうだけど使う人の意思で 人や自然を傷つけるものにも 救えるものにもなる 日本は平和だ 北海道で広島で被爆した方と話をしたとき、これまで出会ってきた人にしてきたように「あなたにとって平和とはなんですか」と聞いてみた しばらく考えたあと 平和ってなんだろう まるで空気みたいなもののように感じますね 自分がその中に居ても ありがたいと思っていなければおしまい そう書いてくれた 僕は今回 僕に出会ってくれた人たち 平和の火に出会ってくれた人たちが 今実は平和の中にいるということを再確認してくれればいいと思う できたら遠い海の向こうでは平和じゃない国があることも考えてもらえたらと思う 自分の幸せはなんて小さいもので貴重なものかと思う。（北海道　大島義章　22歳）

ピースプロデューサーの感想②

新潟のキャンドルナイトの火は役割りを終えた。九州は福岡県星野村へ原爆の残り火を受け取りに行った事が、随分昔に感じられる。よっすぃー、大橋さんに支えられて、かろうじて火を繋げる事が出来ました。その時の左手跡は間もなく全快します。でも、この事が余計に私自身を奮い立たせてくれました。やっぱりスゴかったですね。前日6/19は、寂しさ、安堵感、が交差しなかなか、眠れなかった。当日、よっすぃーのスピーチに熱く感動した。つい、来年も必ず行きますと言った瞬間！！お客さんの歓声が嬉しかった。カイロを貸して下さった渡部さんに心からの感謝申し上げます。新潟のあんゆうでした。（新潟　関本安佑）

今年のキャンドルナイト、七夕の夜に終わりましたね。ピースステーションプロデューサー組長とか言いつつ、新たな仕事でバタバタしたり、宿直が多く、体調くずしたりした為、あまり動けなく、迷惑かけたなと思っています。そんな私ですが、一応これでもピースステーションプロデューサー組長の自覚だけはあったので、どこかで火が消えた時の為に、最終日の7日まで火を持っていました。私は、火の管理を、カイロとろうそくの2つでしていました。あの星野村採火以来、火の存続のために使ったティーキャンドル185個、（8時間用と4時間用）ワンピースキャンドル3個、そしてカイロベンジン7本でした。
嬉しかった事として、去年は殆ど（全く？）協力してくれなかった母が、火の管理に協力してくれて、火を絶やさずにすんだ事です。「ろうそく消えそうやったから、ろうそく新しいのに換えといたよ」と。母だけじゃなく、嫁いだ妹も、「小さな子どもがいるから、火は見られへんわ」といいつつ、自分の結婚式のときのメモリアルキャンドルを提供してくれて、火を見ていてくれました。住職である父は、さすがにろうそくやベンジンはさわりませんでしたが、「おいっ！そろそろろうそく替えろよ」と声をかけてくれました。この火は世界平和だけじゃなく、家庭平和ももたらしてくれたなと思っています。また、仕事から帰って、カイロは大丈夫だけど、もう火は消えてる時間やなと思い、平和の火の部屋にいくと、今にも消えそうに頑張ってくれていて、新たなろうそくに火をうつした途端、古いほうの火が静かに消えるなんて事は何度もありました。待っていてくれたのかなって、そんな気がします。結果、2つのカイロのうちひとつがベンジン切れって事はありましたが、ろうそくは一度も消える事なく、ピースフレンドのみなさんに採火していただく事ができました。ありがとうございます。7日の夜、最後、たまたまかもしれませんが、ろうそくが消えるのと、カイロが消えるのが同時刻で、なんだかさみしい中にも、私のこころに火が灯ったように思います。
ピースフレンドの方が、キャンドルナイトには残られなかったので、風の強い中、「ひとりキャンドルナイト」したのが、一番の思い出です。体調押して、星野村に行き、みんなと会えた事も、火の導きかなと思っています。（京都府　藤澤めぐみ）

6月初旬に吉澤さんと出会い、初対面で「広島原爆の火」の話を聞いたときにこれはいかなければと直感的に思い参加しました。現地に行って実際に平和の火に出会うと、説明できないですが涙が止まらなくなっていました。原爆に遭遇されたすべての人の思いが、一瞬にして身体の中に入ってきたのです。（中略）例えば原子力発電所の存在を否定しながらその恩恵なしでは今の日常生活のなかで生きていけないでしょう。二酸化炭素を減らそうといいながら、平気で自動車に乗っている自分の二枚舌に矛盾を感じながら、どこかで「しょうがないか」と思う自分もいることに、とても悩んでしまいます。そんななかでも、本当の自分の存在価値を自分で認めて動くことの大事さをNHKの大河ドラマ「龍馬伝」は教えてくれています。龍馬は日本を洗濯致しそうろうと言っていますが、今の時代ではまず自分自身を洗濯する必要があるように思います。もともと生まれたときには、透明だった心の中は、いつの間にか濁っていてそんな自分になんとも思わなくなっているということをまず認識することが大事だと思います。自分がもとの透明で素直な心に戻れば、周りに伝染していき親兄弟、親戚、自分の周りにいる人々に伝わっていきやがては町そのものがいや国そのものが元々の心に帰っていきます。お互いがお互いを信頼して、支え合って生きていると自然に笑顔になりすべての生命体の本来の持ち味が生かされて、この世は本当の平和になっていきます。
みんなが兄弟、みんなでひとつの大家族。お金も宗教のいがみ合いもない世界になっていきたい。そのための行動を起こして実際に活動していく。その答えのきっかけを、この平和の火で知り合った人たちから、実践していけたらすばらしいですね。（大阪府　末長達雄）

ピースフレンドの感想①

6月26日（土）に京都府船井郡京丹波町仏主（ほどす）にて、キャンドルナイトを開催させて頂きました。地元の区長様始め、区民の方々。私の家族、いとこ。姉の友人、姪っ子の友人。総勢30名の皆さんと、キャンドルの中で『平和の火』についてお話させて頂き、友人の唄を聞き、両親手作りのキャンドルセットを持ち、皆で歩いて蛍狩り。静かな楽しい夜を過ごさせて頂きました。ホントに主催させて頂けて、良かったです！いっぱい失敗しました！直前にはやめようかとも思いました。**平和の火を燈し続けられない自分や、段取りの悪さ等、自分の足りない所、ダメな所を火に照らし出されたんじゃないかと思いました。**しかし、沢山の人が来て下さって、沢山の人に支えられて、沢山の笑顔を見れて最幸でした。（田井覚　京都）

少人数でしたが、非常に充実した時間を過ごすことが出来ました。動的なイベントは、何もせず**それぞれが静かに平和の火と向き合う時間を静かに過ごせたことは大変、有意義なことであったと思います。**参加者からも普段30分も続けて座ることはないが不思議と時間が長く感じられなかったという感想が出ていました。（森本幸治　楽の森　神戸）

平和の火を使わしていただいたことにより、沢山の方の共感を呼び、思いを一つにイベントを開催する事ができました。また個人的には、**火を絶やさない様に、共に過ごした期間は貴重な体験となりました。**このような機会を提供してくださった1ピースのみなさまに感謝申し上げます。ありがとうございました。（西江嘉展　吉備津彦神社　岡山）

私自身、イベント、仕事、家事、子育ての中で、（みなさんそうですよね）平和の火を保管するのは、正直大変だなあと思うこともあり、そんな中途半端さが、やはり途中で消してしまいました・・反省・・。でも平和の火は無事イベント当日分けて頂きました。本当にありがとうございました。日々の生活に埋もれて、自分自身の事しか見えてない方は（私も含め）、たくさんいらっしゃるだろうなと思いました。そんな人の事、まして日本のこと、世界のことなんて、考える余裕がないと・・・・・でもそうだからこそ、足元だけを見ず、周りを見て視野を広げて、意識して考える事が大切で**私自身、平和の火に触れた事で、自分のちっぽけな悩みが吹っ飛んだというか、とても大切なことを教えてもらいました。**（大畑かおり　神戸）

キャンドルナイト登録間際にワンピースの活動を知って、登録。突然のスタートで始まり、私自身ワンピースの活動を深くしらないままからのスタートでした。私自身、ずーっと平和への思いや活動を個人的にはし続けてきたのですが、外に対して羞恥心からか、今までそういった気持ちや活動を表に出してすることがありませんでした。することがなかったというより、他人の目を気にしてむしろ勇気がなかったのだと思います。でも、同じように平和への思いを抱いている人と繋がりたい、そしてもっと自分の思っていることを素直に表現して行きたいとワンピースの活動に急遽参加することにしました。
採火式で火を受け取ってから、イベントまで14日間。ずっと火と向き合いました。そして、とても神聖な気持ちと共にいることができました。
イベントのキャンド瞑想ヨガですが、参加された方はみなさん、より平和について思いを巡らせて、瞑想をしていただけたようで、大変良かったと思っています！http://ramramyoga.exblog.jp/10883759
ただ、開催一日前に私のミスで、火を消してしまい、しかも、すでにピースステーションのある兵庫から離れた場所で、一瞬、開催が危ぶまれたのですが、幸い岡山で火を保っている方が一人おられ、なんとか火を再度受け取ることができました。火を消したことはとても反省だったのですが、その火を保っている神社が私が滞在していた場所から10分の場所だったこと。そして、火を保たれている宮司さんと共通の知人や、共通の様々な話ができ、まるでなにか神様から守られ、その場所へ誘われたような気がしました。とてもいい時間をもつことができました。**火を消してしまったことで、さらに山本達夫さんが23年間火を絶やさずにいたという、火への強い思いを感じ、より一層平和の火への思いを深めることができたように思います。**また、来年もぜひ参加したいと思っています！来年は、是非星野村に伺って、平和への思いをキャンドルナイトへの思いをもっと深めることができたらと思っています。何よりも、自分の中での平和への思いを外に素直に発信することができて、本当によかったと思っています。これからはもっと、自分の気持ちに素直に平和への思いを発信するきっかけ＆勇気を与えてくれたワンピースに感謝の気持ちでいっぱいです。来年はスタッフもしたいなと思っています！宜しくお願い致します。with Love & peace（池亀はるみ　神戸）

『キャンドルナイトin奈良』を主催しました、松本恭明＆かおり(やっちゃん＆いくちゃん)です。6月19日、19～21時「グループホームあみ」にてキャンドルナイトを開催しました。参加人数は、全員で12名でした。当日は「ヒマラヤを超える子供たち」のDVDを上映。原爆(平和)の火をみんなでキャンドルに灯し、輪になって、手をつないでの黙祷…。それぞれみんな、戦争についての想い、平和への想い、語ってくれました。知る、想う、伝える、そして祈る。**参加してくれた、みんなの想いを聴けたこと、想いを分かち合えたこと、とても、幸せでした。愛に満たされました。**やってみて良かったです。ありがとうございました！（松本恭明　レインボー奈良チーム　奈良）

ピースフレンドの感想②

とにかく、すごく良かったです。個人的には　キャンドルナイトワンピースとして初めての冬至のキャンドルナイトを大阪で実施した時から参加させてもらっていましたが、今年は初めてピースフレンドとして　約1週間　火と共に過ごさせてもらって、感動というか　決意というか、とにかく火や山本達雄さんや拓道さんらの想いが　強く強く心に響いてきて魂が突き動かされました。まずは、こういった体験ができる機会を与えてくれた　キャンドルナイトワンピースの事務局やたけちゃんに心から本気で感謝します！！！ありがとうございます！！！
そして、こんなにありがたい機会、　こんなに尊い機会　　今の日本や世界にとってとてもとても意義深く　重要な機会をもっと日本に広げていきたいと強く想いました。また、「火」から　声が聞こえるかのように　メッセージをもらいました。
「今の日本を変えてほしい」「亡くなった多くの命の意味　命の大切さ　命の役割　生きること　そのものの意味を　本質を広げてほしい」「すべてのものは　表裏一体である　　そして「二つ一つである」天地　男女　火水　善悪　左右　前後　光と影　・・・・・
これからは　欲の心を捨てて　すべてのもの　すべての命　すべての自然を良き方向に使っていくこと　　自由意志というものを持って使うことができる　　扱うことができる　　人間という生物に託されているものがある今こそ　この国から　ぬくもりあるメッセージと　熱く燃え上がるような　爆発的な運動を起こしてほしい「火」は　どこまででも　人々の心に　良心の覚醒を促す役割を担っていく」いろいろ　聞こえてきました。（瀬川映太　神戸）

大分時間が経ってしまいましたが、６月末にキャンドルナイトを東京の元住吉のゲストハウスで実行しました☆夜の１９時からキャンドルを囲んでの総勢８人で飲み語り会。外国人と日本人が混じって、じっくり話しました。そこで、平和の火のことを説明しました。それをきっかけに、日本についてお互いに話をしました。政治の話、国民性の話。お酒を飲みながらの会でしたが、深い話を交わせました。平和の火の話がきっかけで、皆とこういう場が創れた。それだけでも、嬉しかったです。平和について、日本について、世界について考えるきっかけをくれたキャンドルナイト・じょーさんに感謝です☆
ありがとうございました（菅航輝　東京）

「ARMS DOWN!キャンドルナイトin横網公園with原爆の火」主催：ARMS DOWN!キャンペーン墨田実行委員会後援：墨田区協賛：財団法人日本ユニセフ協会が、昨晩（6月20日）無事に終了させていただきました。スタッフを含め、200人以上の方々が参加してくれました。7時半から9時までもひと時は、まさに平和に満ちた、あたたかい時間でした。詳しくは、仲間がブログに報告してくれていますので、そちらをご参照ください。「墨田アームズダウン　レポート」
http://armsdown.blog48.fc2.com/blog-entry-112.html#comment139
既に終わられた皆様方のレポートも読ませていただきました。また、昨晩同じようにされた皆様方の報告も、また今晩行われる皆様方の報告も楽しみですね。原爆の火が真に平和のともし火となって、全世界に広がることを願っています。今年初めて参加させていただきましたが、毎年続けていきたいと思っています。永遠に燃え続ける平和のともし火として、未来の子どもたちにも伝え続けて行きたいと思います。関係者の皆様、仲間の皆様、特に、蜜蔵院でお会いした皆様方、本当のありがとうございました。取り急ぎ、報告まで。（斎藤高市　東京）

２６にちぶじキャンドルナイトおえました。すてきなよるでした。さびしいきもちでいっぱいになりました。（野村さん　和歌山）

昨夜、予定通り家族と一緒に平和の火を囲むことができました2才、6才、14才、18才の子どもたちとパパと私の６人で火を灯し『戦争って何だろう？』『戦争がおきないために自分ができることは？』『幸せだなぁって感じることは？』など火を見つめながらそれぞれの言葉で伝え合い戦争について考えたり、自分の生き方を見つめ直す機会を与えていただいた全てのご縁に感謝しキャンドルナイトを終えました今回私たち家族のもとに平和の火を繋げていただいてありがとうございました
m(_ _)m　（佐野ともみ　和歌山）

採火式で火を受け取って翌日にキャンドルナイトをしたので平和の火と過ごしたのは一晩だけでした。採火式から帰ってきて、教わった手順通りオイルを足してみたのですがこの作業が儀式的で、この作業を繰り返す事によって平和の火の重みを実感していくのだと思いました。翌日の夜、3時間ほどワンピースキャンドルに火を灯し、こうの史代の「夕凪の街 桜の国」を読んだり、藤城清治の「悲しくも美しい平和への遺産」を眺めたりしながら平和について考えてみました。私はこうしてありふれた日常を過ごしているけど、このありふれた瞬間を強制的に終了させられ、今も苦しんでいる人がいるという事実を平和の火が語りかけてきました。恐いような温かいような不思議な感覚を抱きました。その表現しがたい感覚は、キャンドルナイトを終えても続いています。この感覚を忘れないように、平和についてより深く考える事を自分の課題にしたいと思います。
（C.T　和歌山）

ピースフレンドの感想③

平和の火　キャンドルナイトの報告をさせて頂きます。今年は、戦争についての勉強会として、「はだしのゲン」の作者さんのトークDVD鑑賞をしました。忘れてはならない過去の事実を知る事で、今後　私達はどうしていくべきか、どうありたいかを考える事ができたと思います。キャンドルナイトでは、今年はみんなで　思いを込めてお食事を作る事から始めました。お食事は、去年も料理でお世話になった方に力をお借りしました その方ののお料理は、勿論、言うまでもなく美味しい。そして美味しいだけではなく、平和のキャンドルナイトと言う事で 平和なにちなんだ料理（メニュー）を本当に真剣に考えて下さり、思いのこもった温かい　愛の料理です。去年、その温かさに心底感動し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。なので今年も 是非お願いしたいと、お力をお借りしました。 今年は、更に一緒に作ったみんなの思いも加わり、温かく、幸せな気持ちになれる　素晴しい料理になったと思います。食材や調味料にもこだわり、心と体に優しく、シンプルかつ　アイデア満載のお料理でした。食べ物1つ1つの命、　野菜を育ててくれた人、太陽、水、土・・・全てに感謝し、頂きました。料理を頂きながら、火の話、山本達雄さんや拓道さんのお話をさせて頂きました。今回のキャンドルナイトに参加してくれたみんなに、感想を書いてもらいました。イベント主催者としては　反省点もいくつかありますが、感想を読んでやっぱり今年もやって良かったんだ。と思いました。去年初めて　平和の火と出会い、ホントに大きな気付きがありました。初めて火と向き合い、過した日々は　巡る感情、思いに頭が混乱し、呆然としていました。そして、「命の温かさ」「愛」に気付かされました。そして今年。そんな気付きを得て一年たち、自分なりに「平和」について考える様になり、また、自分なりに行動として出して行けるようにと 思う様になっていっている今、今回は、平和の火と関わる事で、実戦として 沢山の事が、出来事として私に起こりました。 気付きがあった と頭で理解してきたつもりでも 受け入れ、自分の物として落とし込み、 自分として にじみだせる様になるには カナリの時間がかかりました。それを試されたような気がします。勿論、まだ出来ていない事もあります。 今回は二回目で、私は火から何を感じられるか とても期待してたけど、 何故か去年ほど 火を灯してゆっくりする時間を作れないでいました。こんな事じゃ 何も感じられないと不安にもなったけど、火から直接ではなく火と関わる事から 色んな出来事がやってきました。初級編から応用編になった感じ？ 途中でようやく気付きました。そうか、今回はこういう感じで勉強させて貰ってるんだ。と。 そして、今回、去年の事も含めて気付いた事がもう1つ。火と向き合う って事は 自分と向き合うって言うこと。 火は自分を映し出します。火と向き合う事で、今の自分がよくわかります。自分を見つめて 受け入れ、これからどうあるべきか、どうありたいかを 考える時間となりました。 一年間で私の考えも色々と変わり、意識もするようになりました。 今回のキャンドルナイトは、初めて平和の火と出会う方の、火を通して 何か平和について考えたり 思い返したりできるきっかけになったらいいなという想いでさせて頂きました。 キャンドルナイトを終えて、反省点はいくつかあります。 これも また次に生かしていきたいと思ってます。今年もまた平和の火に関わる事ができて、 本当に良かったと思っています。そしてキャンドルナイトを開催させて貰って また 勉強になりました。 平和の火に関る全ての方、素晴しい時間を有難うございました。（尾島智子　富山県）

昨日、無事新潟ピースステーションからの火が全て灯る事ができました。また、きっと穏やかにしっかりとこころに灯った事と思います。私も今年は結局2名でのキャンドルナイト。愛の表現について深く感じる機会となりました。いろんな感情を乗り越えて包み込むようなそんなものがあるのだと思います。まだまだ、各地で続きますね。素晴らしい時間になることを新潟より祈っております。（大橋保隆　新潟）

夏至の日大阪 玉造 ゲストハウス&スパイスカフェ由苑にてキャンドルナイト終了。「もう"あんな戦争"は二度と繰り返してはいけないと思いました。」反戦イベントに良くある感想。反戦の意思を持つのはいいけど、"あんな戦争"ってどんな戦争だったのだろう？日本人は先の大戦で戦争にトラウマを持ち、戦争をブラックボックス化してしまっている。それは時が経つにつれ顕著に。しっかり見なければ。自分から情報を取りに行く。一人一人が独立した人間として、己の感性で受け、己の思考で考え、己の責任で動くこれは反戦イベントやない。反戦の前に戦をちゃんと勉強せな。更に自分の勉強は続きます。（垣内大樹　大阪）

参加者の感想①

火の温かさに触れ、火を感じている内に芯まで癒される自分がいました。接する人の心の波動に火は共鳴していくものと思います。映画の中で「絶対に戦争をしてはいけないよ」と子供たちに約束するシーンが印象的でした。一人一人の心の中に火種があることを悟られた方のお言葉なのでしょう。ズッシリとくる重い歴史も多くの人々の愛と縁の力で全て克服していけると信じています（Aさん　新潟）

改めて火の意味を考えました。ものや人や時代の流れがなんでも希薄になりがちなこの時世に私たちが尊重しなければならない想いがあるんだと守ってきた男がいたんだと心に刻んでいます。（ARさん　新潟）

1年ぶりの平和の火はその意味を変えずに燃えていました。1年前に感じた思いは今日平和の火を見るまで楽観的な思いに変わっていました。（Sさん　新潟）

2回目ともあり、前回とは少し違った目線で見ています。去年、平和の火と出会ってから1年間で「平和」について自分なりに考え意識するようになりました。「戦争」「世界平和」というと自分に出来ることはとても小さく思えますが「自分の周り」身近なところからと思うと出来ることも多くまた意外と自分の周りの平和すらなかなか維持することが難しく気づきや学びが多いことに気づきます。（Oさん　新潟）

今日この場に参加して私が感じたことやそれを言葉にできるのは1週間後かもしれないし、1ヶ月後かもしれないし、1年後かもしれません。去年この平和の火を使ったキャンドルナイトに参加して1年後（今年）の自分の感情の変化や戦争や平和について考えることが増えたことそれを考えると今というよりこの先感じることに自分自身でもどうなるんだろうと思っています。来年、その次ともしかしたら自分自身で発信して何かを伝えようと思ったときっとこの火のことを思い出すだろうしこの火を伝えたいと思うのではないかな。憎しみも怒りも誰かを想うがゆえその根本にあるのが愛だと思いたいそうすればきっと人を思ったときに今までと違う見方ができるのかなと感じています私に戦争を話してくれたおじいちゃんもおばあちゃんも皆やっぱり大切な誰かを守って今の自分の命に繋がっている私もこの先自分の子供たちにそんな想いを伝えていきたい。（Kさん　新潟）

ここへくるまでいろいろ考えいろんな葛藤があったんですがやはり触れないとわからないことはあると思ったので参加を決意しました。火を守ってきた方の心の変化はとても不思議というかどういったことで憎しみから平和へシフトできたのか些細な事なのかもしれないけど人の感情というか心のあり方というか持ち方というか考えさせられます（Mさん　新潟）

一つ一つのキャンドルも人から人へ伝わっていき、今、目の前にあると言う事。微力だけど、集まれば大きな力になる事を改めて思った。（参加者　富山）

命は永遠ではない。生きているこの瞬間に全ての命を使っていこうと思った。（参加者　富山）

火を消す時、この一年間、”平和とは逆の思い”を持ち続けていた自分と決別する想いを込めて火をけしました。（参加者　富山）

こらから自分はどうあるべきか　考えさせられました。（参加者　富山）

今回の気付きをどう表現して伝えるべきか・・・。（参加者　富山）

先日は素敵なキャンドルナイトをありがとうございました！いろいろなことを考えたけど、うまく伝えられない気がします。考えたことは、答えがあることでもないし。何人もの友達に、キャンドルナイトの話をしました。参加した人だけでなく、もっと繋がっていくのがキャンドルナイトなのかも。慌ただしく慈尊院を後にしたので、他の参加者とお話ができなかったのは残念でした。他の方と触れ合えるホームパーティーのような形もいいのかなぁと思いました。とにかく思いが伝わる良い時間でした。ありがとう！（Tさん　30代女性　和歌山）

参加者の感想②

先日の一番良かったのは はるかちゃんの 話です。親子で星野村に行き キャンドルナイトを企画したこと。家族のように 灯のお世話をしたこと。もっと 話が聴きたいと思いました。笛のおじさんも温かく 深尾親子を応援して張り切ってはるなぁー と 思いましたが 平和の灯の思いを伝えたいという 深尾親子の感じたことを シェアできるような時間が、もっとあったらいいと思いました。原爆の灯を星野村にもらいに行こうとした きっかけ。星野村で話を聞いて感じたこと。企画運営していく中で 感じたこと。体験した言葉は 人に伝わる力があると思うので これからも 純粋な瞳で見て感じたことを大切にいろんなことに 挑戦してくださいね。 人の心に平和の灯がともりますように。（50代女性　和歌山）

誰かが天国から降りてきた気がした。きっとあのおじさんだと思う。嬉しそうだった・またキャンドルナイトをしたらおじさんが喜んでくれると思うし、たくさんの人がこの事を知れるいい機会になると思う。とてもいいキャンドルナイトだった・ （15歳女性　和歌山）

先日はキャンドルナイトに参加させていただきありがとうございました。日本は唯一の被爆体験国であり原子爆弾により多くの人が亡くなった国です。国民の大半が戦後に生まれ直接戦争を体験していない人が増え、平和が当たり前の現代に戦争を体験した人が残した平和について聞き、それを伝えることの大切さを改めて考えさせられました。ちょっと難しい表現ですが、個々の情報は点であり、多くの人の情報や行動で線となります。和歌山で初めてのこのイベントの意味は大きいものだったと思います。始まったときぼんやりしていた炎の意味がはるかちゃんの説明とお母さんの朗読で鮮明になり、参加した人の心に大きく残ることができました。人の記憶に残り、人から人に伝えることで炎の意味は参加した皆に移り心に灯りました。そして、場所の設定からスケジュールまで二人でやったこと、これはもっとすごいです。小さく考えていたことがだんだん大きくなってしまってからの企画から実施は大変だったでしょう。
あいにくの雨でしたが、「もうこんな時間」と思うくらい短く感じました。
本当に良いイベントで、着いてから見た炎と終わってから見た炎が違って見えました。だから原爆はなくなるかと言うと、残念ですが無くならないでしょう。平和の意味は犠牲が出て初めてわかるのが人間です。これから少しずつアメリカ各機関と日本政府が隠された情報を公開して日本人や世界の人たちが更に核爆弾の恐ろしさ悲惨さを知る機会が増えて平和を考えることが出来るように、小さくてもたくさん情報の発信を行い多くの人が意味を共有していけば、大きな力となっていくでしょう。良いイベントをありがとうございました。（Hさん　40代男性　和歌山）

原爆の残り火が、アメリカ人に対するにくしみの火から、平和の祈りの火に変わった火だったから、それを知って見たとき、複雑な気持ちになった。これからは、外国人や他人の気持ちも尊重し、平和を大事にすれば、戦争は起こらないと思う。(中学一年男性　長崎）

初めて原爆の残り火「平和の火」を見て、不思議な気持ちになった。目の前にある火が65年前にたくさんの人の命を奪ったのだと思うと悲しくなった。学校での勉強だけではわからない戦争の「重み」がすぐそこにあり、ほのかにあたたかい温度でそれを感じることができた。ただ、「65年も前にあっただけのこと」として捉えるのではなく、今も戦の火は消えていない、もう二度とこのような過ちを繰り返してはいけないと考え、戦争を否定し、平和を築いていけるように、自分が「今」できることを、僕はやっていきたいと思った。（中学3年生男性　長崎）

メディア掲載

＜新聞掲載＞
5月15日　毎日新聞（大阪版）
5月22日　読売新聞（筑後瓦版）
5月23日　毎日新聞（和歌山版）
5月25日　毎日新聞（広島版）
6月6日　西日本新聞
6月13日　朝日新聞（三重版）
6月12日　毎日新聞（京都版）
6月15日　読売新聞（和歌山版）
6月19日　毎日新聞（和歌山版）
6月20日　読売新聞（神戸明石版）、神戸新聞、読売新聞（大阪版）
6月21日　新潟日報
6月22日　西日本新聞
6月22日　共同通信（大阪日日新聞・日本海新聞等）
7月19日　読売新聞（新潟）

＜TV放映＞
J:COMにて放映

メディア掲載：新聞：16誌　テレビ：1

協力企業

宮田工業株式会社様　http://www.gear-m.co.jp/

家庭用消火器「キッチンアイ」4本とスプレー式消火具「ケセール」80本をご提供いただき、安全管理のサポートをしていただきました。「キッチンアイ」は各ピースステーションでの採火セレモニーで設置させていただき、「ケセール」はご参加いただいたピースフレンドの方々にお渡し致しました。、

株式会社シグロ様　http://cine.co.jp/

映画「マッシュルームクラブ」を採火セレモニーでの教材として使用させていただきました。

株式会社サトウ花店様　http://www.satoh-hanamise.co.jp/

リサイクルキャンドルで使用させていただく廃キャンドルをご提供いただきました。

収支

＜収入＞

採火セレモニー参加費（合宿12名(学生2名）・学習会6名・準スタッフ1名）	89,500
寄付	3,450
ワンピースキャンドル 235個	36,200
メッセージキャンドル2009　2個　　2010　3個	10,900
Tシャツ	18,400
シゴロDVD販売　（マッシュルームクラブ12枚、ヒロシマ・ナガサキ）	49,980
広島長崎議定書絵本（62冊）	34,000
防炎シート　4枚	2,400
合計	¥244, 830

＜支出＞

採火セレモニー経費（場所代・諸経費）	27,247
交通費（採火セレモニー）	16,090
平和の火管理用資材（防炎グッズ、カイロ・ランプ用資材）	7,039
交通費（関西圏移動）	5,000
ヒロシマ取材費（宿泊費・交通費）	14,100
チラシ印刷・発送	2,310
通信費（5000円×3名手当、レンタルサーバー代）	27,600
送料（物販等）	3,820
雑費（振込み手数料等）	840
ワンピースキャンドル 235個	26,100
メッセージキャンドル2009　2個　　2010　3個	6,500
Tシャツ	10,630
シゴロDVD販売　（マッシュルームクラブ12枚、ヒロシマ・ナガサキ、寄付3,000円）	52,980
広島長崎議定書絵本（62冊）	27,200
防炎シート　20枚	10,605
キャンドル寄付	3,310
合計	¥241,371

収支合計　3,459円

総括及び今後の展望

今回で4回目になるキャンドルナイトワンピースですが、今まで事務局スタッフが主催して実施していた採火セレモニーを一般に募集して結果11箇所で実施する事ができました。

その結果、より多くのキャンドルナイト主催者に参加いただきました。また今まで催しとして実施している参加者が多かったのですが、家族や友人だけの非公開のプライベートなキャンドルナイトもその中にはいくつか見ることができました。より参加しやすい環境を作る事ができたのだと思います。

また、17歳や22歳の採火セレモニーのプロデューサーが表れ、未来を担う若い世代が各地域の中心となって取り組み色々な事を感じてくれた事も嬉しい成果の一つだったと思います。

今回は安全対策委員を発足させ、宮田工業様に消火器類をご協賛いただき安全対策には配慮して取り組みましたが、星野村の採火セレモニーで1人火傷をされた方が出てしまいました。その後、火の取り扱いマニュアルを一新し、更に安全対策に力を入れて取り組みました。今後二度と事故のないようにますます十分な安全対策が必要だと思われます。

私共の取り組みの後、参画していただいた何人かの方々が、7月と8月に独自で「平和の火」を使った取り組みを行っていただきました。私共は、この活動を通じて「平和の火」に触れた人々から何らかの動きが生まれてくれる事を願いながら推進しております。
そういう意味で、それらの動きは私共にとって大きな成果だったと思います。

さて、今後の予定ですが、毎年夏至に行っていたこの活動ですが、2010年は冬至にも実施を計画しております。今年は日韓併合100年という節目の年でもありますので、朝鮮半島の被爆者の方々に光を照らすキャンドルナイトを開催できればと思っております。詳しくは改めてご相談させていただきます。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

Candle Night 1 Pi:ce実行委員会
代表　吉澤武彦